

浜通り平坦地域におけるユーカリ栽培 (2年目)の実証(檜葉町)

福島県農業総合センター 浜地域農業再生研究センター

事業名 福島県営農再開支援事業

小事業名 営農再開に向けた作付・飼養実証

研究課題名 浜通り平坦地域におけるユーカリ栽培の実証(檜葉町)

担当者 佐藤優平、根本知明

I 新技術の解説

1 要旨

浜通り平坦地域では、土地利用型作物として花木が注目され、ユーカリの栽培面積が広がりを見せている。そこで、ユーカリ栽培の実証を行ったところ栽培初年度は、株の養成が中心となるが、栽培2年目から本格的な出荷が可能となり、10月から12月にかけて、株当たりの切り枝は10本~15本と、十分な収量を確保できる。

- (1) 栽培品種は「銀世界」と「グニー」であり、「銀世界」は枝が横に広がり、葉は広く大きい特徴がある(図1)。「グニー」はあまり枝が横に広がらず、葉が卵形で小さい特徴がある(図2)。
- (2) 栽培2年目の3月~4月に切り戻しを行うと、5月上旬には萌芽が確認され、収穫盛期は「銀世界」では10月下旬、「グニー」では11月上旬となる(表1)。
- (3) 栽培2年目の株当たりの出荷本数(60cm以上の切り枝)は、「銀世界」が15.5本、「グニー」が10.2本であり、10a当たりの出荷本数は「銀世界」が6,448本、「グニー」が4,243本と十分な収量を確保できた(表1、表2)。

2 期待される効果

浜通り平坦地域におけるユーカリ栽培の参考になる。

3 活用上の留意点

- (1) 2019年6月26日に定植し、翌年3月~4月に主幹・主枝を切り戻し、枝の発生を促した。
- (2) 栽植様式は株間120cm、畝間200cm、畝高20cm、畝幅80cmである。「グニー」については、密植することで植え付け本数を増やすことが可能である。
- (3) 実証までは、越冬中の寒さによる枯死は、栽培1年目では認められなかった。定植後の活着不良による枯死は「銀世界」で1本、切り戻し後の枯死は「グニー」で1本見られた。
- (4) 風による倒伏が見られるため、支柱への誘引が必要である。
- (5) 高品質の切り枝を収穫するためには、定期的な除草や薬剤散布等が必要である。

II 具体的データ等



図1 「銀世界」の特徴

(左：収穫時、右上：枝、右下：葉)



図2 「グニー」の特徴

(左：収穫時、右上：枝、右下：葉)

表1 各品種の収穫時期及び切り枝品質（2年目）

品種	収穫時期			出荷本数 (本/株)	出荷規格別割合(%)				
	始期	盛期	終期		100cm	90cm	80cm	70cm	60cm
銀世界	10月9日	10月31日	12月1日	15.5 ± 5.8	42.5	22.9	17.9	12.8	3.9
グニー	10月9日	11月4日	12月1日	10.2 ± 5.2	37.1	12.1	16.4	20.0	14.3

※収穫始期は収穫を開始した日、収穫盛期は収穫枝のうち50%を収穫した日、収穫終期は収穫を終了した日。

※出荷本数は、収穫枝から採れた出荷可能な枝の本数。値は平均値±標準偏差。

※出荷規格については、JA 福島さくらふたば地区本部ユウカリ出荷選別規格に基づく。

表2 各品種の出荷本数（2年目）

	銀世界	グニー
植え付け本数(本/10a)※	416	416
出荷本数(本/株)	15.5	10.2
出荷本数(本/10a)	6,448	4,243

※栽植様式は株間120cm、畝間200cm、畝高20cm、畝幅80cm。

III その他

1 執筆者

佐藤優平

2 実施期間

令和2年度

3 主な参考文献・資料

なし